

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんにほんふらめんこきょうかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人日本フラメンコ協会		https://www.anif.jp/
代表者職・氏名	会長 三澤勝弘		
制作団体所在地	〒 164-0001	最寄り駅(バス停)	JR中野/メトロ東高円寺
	東京都中野区中野3-3-6 セルバビル2階		
電話番号	03-3383-0413		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんにほんふらめんこきょうかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人日本フラメンコ協会		https://www.anif.jp/
代表者職・氏名			
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1990年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 渡邊 薫、専務理事 鈴木真澄、手塚真智子、理事 有田圭輔ほか34名、事務局長 瀬戸雅美、監査役 山田宏敬		理事34名、特別正会員44名(職業実演家として優れた技能と実績があり、理事2名以上からの推薦と理事会での承認を得た者)、会員834名(職業実演家130名程度、実演家志望100名程度、愛好家600名程度)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	瀬戸雅美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	望月素子(日本フラメンコ協会) 亀村 彩(山田宏敬税務会計事務所)
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	flamenco@anif.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1990年 日本フラメンコ協会設立 1991年 基幹事業「フラメンコ・ルネサンス21」開始(以後1995年、2020年を除き毎年開催) 2000年 設立10周年記念フェスティバル開催 2002年 日本芸能実演家団体協議会加入 2005年 ANIFセンター設立 2007年 文化庁在外研修推薦団体となる 2008年 アンダルシア・バイレフラメンコ博物館(Museo del Baile Flamenco)と協定締結 2011年 設立20周年記念公演開催 2013年 一般社団法人 日本フラメンコ協会設立 2014年 現代舞踊協会との共催公演開催 第1回日本カンテ・デ・ラス・ミナス音楽祭開催 2016年 第2回日本カンテ・デ・ラス・ミナス音楽祭開催 2020年 設立30周年記念公演は緊急事態宣言発令により中止、SNSおよびリモート企画を開始 2021年 初代会長:濱田滋郎氏、初代事務局長:田代淳氏 逝去(3月) 新会長:三澤勝弘、新事務局長:瀬戸雅美 就任(4月) 2022年 AFF2補助事業「FLAMENCO GALA」東京/大阪を開催(12月) 2023年 フラメンコ協会作品「フラメンコのちから」初演(3月) アートキャラバン2補助事業「フラメンコのちから」全国公演を予定(12月～24年1月)</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>※直近10年程度に限っての、当会理事における学校等における公演およびワークショップの実績です</p> <p>2002年～現在(2020～2023年は中止) 新潟県上越市・上越文化会館主催の学校公演にて、市内小学校(上杉小学校、南川小学校ほか)において、毎年、フラメンコ公演やワークショップを実施／ 鈴木真澄(日本フラメンコ協会 専務理事)、鈴木英夫(同 理事)、有田圭輔(同 理事) ※別添1</p> <p>2011年より 東京都中央区立幼稚園・小学校で、子供たちがスペインの文化芸術に触れ芸術性を育む機会として、レクチャー、舞踊、体験などを入れた「国際理解教室」「オリンピック・パラリンピック教室」を、泰明小学校、日本橋小学校など、延べ14の幼稚園・小学校で実施／ 石井智子(同 理事)</p> <p>2019年11月 横浜市内西寺尾第二小学校の3、4年生を対象に、ギター、カンテ(歌)と踊りのフラメンコワークショップを6名体制で実施／ 手塚真智子(同 理事)</p> <p>2023年2月 福井県鯖江市立待小学校にて、フラメンコワークショップを実施／ 佐藤浩希(同 理事)</p> <p>2024年1月(予定)千葉県館山市の小中学生1,000名を「フラメンコのちから」館山公演(南総文化ホール 大ホール)に招待／ 日本フラメンコ協会</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>団体として特別支援学校等における公演実績はなく、本事業を通じてその機会に巡り会うことを強く希望しております。</p> <p>※ なお、本公演の振付演出、ならびに、ワークショップの代表監修者である佐藤浩希(理事)においては、介護福祉士および保育士として障害者の介護に従事していた経歴を有します。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtube.com/playlist?list=PLDZS1UyNZPeto5WnpGU22zJsludw3KlImO&si=oswwFmiKySgCkS_h</p>		
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>	
	<p>PW:</p>	<p></p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	「フラメンコのちから」				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>日本フラメンコ協会作品「フラメンコのちから」演出/振付 佐藤浩希 ※初演2023年3月(別添2)</p> <p>0. イントロダクション フラメンコの歴史と成り立ち、その魅力や楽しみ方について、映像で解説するイントロダクション。</p> <p>1. 「アレグリアス」 重鎮・中堅・新進の3世代の舞踊家が総出演で、生きる“喜び”を全身で表現し、命のほとばしりを感じる、華やかで溢らつとしたオープニング。</p> <p>2. 「ティエントス」 本場スペインに次ぐフラメンコ大国である日本。その礎を築いてきた重鎮・シニア世代が、人生の渋み、重み、味わいを、世代から世代へと受け継がれてきた往年のフラメンコの粋をみせる。</p> <p>3. 「シギーリャ」 日本のフラメンコ界の最前線で活躍するアーティストであり、現役の指導者層でもある中堅世代ならではの高い技能と深い表現力をもって、フラメンコの中でも難曲であるシギーリャを命がけて踊る。</p> <p>4. 「ルンバイブレリア」 日本のフラメンコ界の未来を担う新進世代が、まさに旬の状態にある身体能力を発揮して、パッション全開で、エンターテインメント性の高い表現をみせる。なお、本演目の後半では、児童・生徒・客席の参加型の“フィエスタ”シーンが設定されている。</p> <p>5. 「カーニャ」 再び、舞踊家キャスト全員が総出演。オープニングとは対照的に、重々しく、深い祈りを捧げるように、あらゆる生命を讃え、愛と敬意を込めて踊る。</p> <p>6. フィナーレ 会場の全員が手拍子(パルマ)とかけ声(ハレオ)、代表児童生徒が踊りで参加する、大興奮のフィナーレ。学校・学年により、選択制の楽曲です。</p> <p>*各演目の鑑賞の間には、解説、体験、共演に関連した「お話」が入ります。(脚本 瀬戸雅美)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし		該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	内部保有	
演目概要	<p>フラメンコには、年齢、性別、国籍、プロ/アマ、観る者/演じる者といったあらゆる垣根を超えて、すべての人々にポジティブなエネルギーを伝える力があります。いまや日本は、その発祥地であるスペインに次ぐフラメンコ愛好家人口と、世界水準の実力を備えたアーティストを数多く有する“フラメンコ大国”であることをご存知でしょうか？ そんな日本のフラメンコ界を名実ともに代表する3世代のアーティスト(舞踊家、音楽家)が派閥や出身を超えて入れ替わり立ち代り出演するという、フラメンコ史上類をみない本作の振付演出は、歌舞伎、宝塚、吉本新喜劇などのフラメンコ・シーンにおける活躍もめざましい佐藤浩希氏の手によるものです。また、踊りだけでなく、人の声(歌や掛け声)、ギター、そして手拍子による生演奏をもって上演されることから、舞踊(視覚)と音楽(聴覚)の総合芸術であるフラメンコの素晴らしさを俯瞰、存分に体験することができます。児童・生徒のみならず、そして共に鑑賞される先生や保護者の方に、「生きるって素晴らしい」という強いカタルシス(精神の浄化)をお伝えすることが、私たちの願いであり、本演目の主旨です。</p>				
演目選択理由	<p>第一の理由は、フラメンコの本質にあります。フラメンコの「踊り」「歌」「ギター」を通じて表現するのは、生きていれば誰もが逃れることのできない苦しみや悲しみ、それでもやはり生きているからこそ感じられる楽しさや喜び、まさに生への情熱であり、手拍子や掛け声でこれを励まし、共感し、「Ole(オレ)！」と讃えあうことを、大切にしています。これを鑑賞/体験することは、児童・生徒の感受性、共感性、想像力、そしてコミュニケーション能力を豊かに育むことに直結すると考えます。第二には、こうしたフラメンコの本質をお伝えするために、これ以上はないと言い切れるキャストです。日本のフラメンコ界で活躍する実演家の統括団体である当会の主催でなければ実現しない“オールスター”、所属や派閥を超えた多彩で一流のアーティストたちがみせる、迫真の技とパッションをご覧にいただけます。そして第三に、照明や大道具を駆使したステージ設置によって「劇場」公演さながらの圧倒や感動を呼び起こしながらも、フラメンコがもつ、気取らず野生的で、あたたかく親密な、観る者と演じる者の垣根をとった演出をとりいれることで、単なる感動を超えた忘れられない体験の記憶を生み出し、またもう一度観てみたい、そして演じてみたいという思いにつながることを期待します。</p>				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>0. イントロダクションで、全員を対象にフラメンコのハレオ(掛け声)の解説、ワークショップの復習をします/ その勢いで迎えるオープニング、1. 「アレグリアス」で、さっそくハレオの実践をします</p> <p>2. 「ティエントス」では、客席の中央付近に設置する「円形」コンパネエリアにて、児童・生徒/観客の至近距離で衣装や髪結いの様子をみせ、代表児童生徒を対象に、衣装や髪結いの体験をしていただきます</p> <p>4. 「ルンバイブレリア」では、再び、客席中央付近に設置する「円形」コンパネにて、児童・生徒/観客が参加する形で、ハレオとパルマ(手拍子)の共演を体験していただきます</p> <p>6. フィナーレでは、児童・生徒/観客の手拍子参加と、代表児童によるステージ上でのパフォーマンスを体験していただきます</p>				
出演者	<p>●舞踊家 [重鎮]岡本倫子 小林伴子 齋藤克己 鈴木眞澄 曾我辺靖子 手塚真智子 渡邊薫 [中堅]石川慶子 伊集院史朗 鍵田真由美 三枝雄輔 佐藤浩希 三郎 鈴木敬子 堀江朋子 宮内さゆり [新進]荒濱早絵 川松冬花 鬼頭幸穂 佐藤陽美 JURINA 中里眞央 脇川 愛 山崎嬉星 (以上、本作品レギュラーキャスト)に加えて、オーディションにより選出する舞踊家より 計16名</p> <p>●音楽家 [ギター]鈴木英夫 今田央 片桐勝彦 [カンテ(歌)]有田圭輔 石塚隆充 川島桂子(以上、本作品レギュラーミュージシャン)ほか、オーディションにより選出する音楽家より 計4名</p>				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 20 名	運搬	積載量: 2 t		
	スタッフ: 20 名		車長: 7 m		
	合計: 40 名		台数: 2 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	9:00-12:00	13:40-15:00	10分	15:00-17:00	17時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	11月	12月	1月	計	60日	
	20日	20日	20日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名 程度
		鑑賞人数目安	350名 程度

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	80～100名
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>1.「フラメンコって、何？」 <レクチャー形式> (1) 日本はフラメンコ大国?! 19世紀(いまから200年ぐらい前)にスペインで生まれたフラメンコが日本入ってきたのは、20世紀になってから(100年ぐらい前)のことですが、なんと!現在の日本には、本場スペインに次いで多くのフラメンコ愛好家がいる、世界基準で活躍するアーティストもたくさんいます。地球の裏側ほどに遠い国の音楽と踊りであるフラメンコのことを、なぜこれほど多くの日本人が好きになって(ハマって)しまうのでしょうか? その秘密は、フラメンコ歴史や成り立ちの中に隠れているかもしれません…</p> <p>▷ 映像、写真、実演、クイズを交えながら、フラメンコやスペインについてのさまざまな知識を楽しく学び、その魅力や楽しみ方を知ります。▷ 靴、衣装、髪型、アクセサリーなど、舞台芸術で大切なファッションや身だしなみについても学びます。</p> <p>2.「フラメンコに、挑戦！」 <実践形式> (2) フラメンコの力を感じて、表現して、踊ってみよう! ～「ブレリアス」に挑戦～ 12拍子の変拍子!?「トーマッサイ トーマッサイ トーマイ トーマイト」のリズムに合わせて、もっともフラメンコらしい「ブレリアス」という曲形式の、① 手拍子「パルマ」、② 掛け声「ハレオ」、そして、③ 踊り「バイレ」に挑戦してみよう! フラメンコは、自分の体でいろいろな音を出して発信できる、いわば、人間一人ひとりが芸術作品 なのです!</p> <p>(3) 日本語のフラメンコで、本格的に踊ってみよう! ～「タンゴ」「ルンバ」または「セビジャーナス」に挑戦～ フラメンコの歌は、スペインの南部にあるアンダルシア地方の方言/訛り(なまり)＝自分たちにとってもっとも自然なことばで歌われ、それにあわせて、踊り出します。私たちも、自分たちの言葉である日本語で歌われるフラメンコの曲で、いっしょに歌ったり、踊ったりしてみよう!</p> <p>▷ 参加児童・生徒の学年に応じた、理解度や身体能力にあわせて、講義/実践します。 ▷ 1時限目に1.(1)のレクチャー形式、2時限目に2.(2)(3)の実践形式を実施するのが基本としながら、参加児童・生徒の「できること」や「興味」に応じて、時間配分を工夫・調整変更します。 ▷ 2.(2)①②は全員が、③ および(3)については代表児童・生徒が、本公演でこれを披露するプログラムです。(3)については、復習用の動画を用意します。</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>▷ フラメンコは、感情豊かで情熱的な芸術であり、自己表現の手段として、とても優れたものです。ワークショップを通じて、参加者は自分の感情をあらわす表現力や、そこから生まれる創造性を養うことができます。</p> <p>▷ フラメンコは、技術の優劣や容姿の美醜ではなく、一人ひとりの表現を互いにリスペクトしあうことを本質としています。一人ひとりが違うからこそ素晴らしい、という多様性を、あたりまえのものとして受け止められるようになります。</p> <p>▷ フラメンコは、独特で複雑なリズムパターンを持ち、この音楽とダンスを組み合わせることで体験することにより、未知のリズムに触れる楽しみや体を動かす喜びを味わい、「リズムやメロディにあわせて踊りたい」という人間の根源的な欲求を、ためらいなく、ごく自然に感じることができます。</p> <p>▷ フラメンコは、その発祥地であるスペインの文化や、ルーツである北インドや、アラブ・イスラム文化とも関連しており、ワークショップを通じて、外国の異文化に触れる機会が提供されます。音楽、舞台衣装、歴史などについて、日本と共通する部分や異なる部分を学び、国際社会への広い視野を養います。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>フラメンコは、音楽と舞踊の総合芸術であることから、リズム、手拍子、足踏み、ダンス、掛け声、歌...自分の体や声をつかって、実にさまざまな楽しみ方でこれを体験することができます。</p> <p>小学校低学年から中学生(そして先生まで)どんな年齢や状態の人でも、広く参加の可能性があります。また、障害のある児童・生徒にも、さまざまな参加の方法を考案することが可能です。(特別支援学校、聾学校、盲学校においては、事前に普通の授業の様子を伺い、その障害の種類や程度に寄り添う形でのご提案をいたします)</p> <p>一人ひとり違う存在であるすべての児童・生徒に、自己の感情を表現する、肯定的で充実感のある経験をさせていただくために、プロフェッショナルとして、また、心を込めて指導させていただきます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>私たち、日本フラメンコ協会(Asociación Nipona de Flamenco/通称ANIF)は、日本のフラメンコ芸術の普及振興及び向上発展に寄与することを目的に1990年に誕生し、2002年に芸団協に加盟、2013年には一般社団法人となった、日本のフラメンコ芸術の統括団体です。</p> <p>本公演およびワークショップの内容欄にて既述のとおり、我が国が、本場スペインに次ぐフラメンコ愛好家人口や世界レベルのアーティスト(舞踊家、音楽家)を有するようになったことに比例して、次第に当会の果たすべき役割も大きくなり、特にこのコロナ禍中からは、団体として、これまでにない新たな取り組みへの挑戦を重ねてきました。</p> <p>そんな中、「子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的」とする、この学校巡回公演事業の実施団体となることは、当会のみならず、業界をあげての悲願です。</p> <p>学校公演やワークショップそれ自体は、規模や質が多岐にわたる形で全国各地でさまざまに開催されていますけれども、いわば“学校公演の最高峰”ともいえる本事業においては、当該分野の紛うことなき「本物」の芸術家を派遣し、真に質の高い文化芸術を鑑賞・体験していただくことが肝要であると考えます。</p> <p>こと、フラメンコ分野においては、我が国のフラメンコを黎明期から支えてきた実演家や指導者たちが理事を務めながら、業界のプロフェッショナルの登竜門である「新人公演」を通じて優れたアーティストを輩出してきた当会こそ、それを担う使命があると考え、この度の応募に至った次第です。</p> <p>全国の小学校・中学校等において巡回公演を行うことを通じて、「将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進すること」に貢献し、あわせて、すべての人々にポジティブなエネルギーを伝える「ちから」をもつ、フラメンコの魅力を広く伝え、その普及と振興をはかりたいと強く願っております。</p>
	<p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>フラメンコの統括団体として、国内のトップレベルのアーティスト(舞踊家、音楽家)を偏りなく、フラメンコの舞台設営や学校巡回公演の経験が豊富な専門スタッフを厳選して、安定的に派遣することができます。これにより、質の高いワークショップと本公演を継続的かつ効果的に実施することができます。</p> <p>実施にあたっては、各学校の事情や児童・生徒および教職員の皆様の希望を事前に伺い、できる限り円滑に実施できるよう、配慮いたします。</p> <p>随時、学校や関係者の皆様からのフィードバックを受け、より効果的で円滑な実施のために改善を継続します。</p>

リンク先 No.1

【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】	アウトリーチ「フラメンコ」実績		
			年度	会場	人数
学校等における公演実績			平成18年	上越市立南川小学校	250
				上越市立上杉小学校	150
				平山・天王町内会	90
			平成19年	新潟県立高田養護学校	150
				上越市立宝田小学校	180
				あけぼの町内会	60
			平成24年	上越市立三軒小学校	100
				上越市立下保意小学校	70
				名立田野上町内会	40
			平成25年	上越市立吉川小学校	280
				上越市立古城小学校	80
				五智6丁目町内会	80
			平成27年	高田特別支援学校	220
				上越市立上下浜小学校	130
				下百々町内会	60
			平成28年	上越市立南川小学校	280
				上越市立八千浦小学校	220
				清里区町内会	50
			平成29年	上越市立直江津南小学校	350
				上越市立柿崎小学校	290
				針町内会	80
平成30年	上越市立大島小学校	50			
	上越市立有田小学校	600			
	春日野町内会	40			
平成31年	上越市立春日新田小学校	386			
	上越市立宮嶋小学校	70			
	赤野俣町内会	120			

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	本公演で上演する「フラメンコのちから」 [初演] 2023年3月 なかのZEROホール(日本フラメンコ協会主催「第11回アニフェリア フラメンコの祭典」) [再演予定] 2023年12月 仙台市民会館、札幌共済ホール、富山オーバード・ホール、2024年1月 阿南市文化会館、クレオ大阪中央ホール、南総文化ホール(日本フラメンコ協会主催/文化庁アートキャラバン2「フラメンコのちから」)	